

	号外	定価 1部2円	最終局面！給与改定の12月議会提案、処遇改善に全力を挙げるべく、県職労に結集を！
	昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁12階 岩手県職員労働組合	

2025確定闘争⑥-朝

公民較差は国会情勢で変わらない!!

賃上げ 年内差額支給実施を

通勤手当 交通用具既存距離区分の4月遡及引上げを 駐車場手当具体化・職員駐車場無料化を

県地方公務員共闘会議（議長：佐藤工・岩教組委員長）は、明日6日、確定闘争最終局面となる福田総務部長との交渉を行い、給与改定の12月議会での提案・早期改定の確実な実施、高齢層職員の処遇改善、通勤手当等の諸手当改善、失職特例導入等を求め、総務部長交渉で具体的な前進回答を引き出していく。12月定例会前の部長交渉が賃上げ・労働条件改善の回答を引き出す最終局面だ。主な交渉ポイントは下表のとおり。

《 地公共闘：これまでの交渉での確認と交渉の課題 》

要求課題	これまでの交渉経過	交渉の課題
給与改定・差額支給	県人勧尊重の姿勢。給与改定は、国家公務員給与も考慮事項のため、国の状況を注視。可能な限り年内差額支給できるよう準備。会計年度任用職員も同様。	公民較差は国の法改正の時期で変わらない。12月議会での提案・成立及び差額の確実な年内支給をするべき。
高齢層職員の処遇改善	現行の60歳超職員の給与水準は、民間の高齢期雇用の実情を考慮し、当分の間の措置として設定したものと認識。	一般的な高齢期雇用に均衡しないハードな働き方がまん延している。より踏み込んだ改善方針とするべき。
通勤手当	交通用具の既存距離区分の支給月額引上げは検討中。駐車場等手当は国から詳細が示されておらず、今後検討。	既存距離区分は4月遡及で改定すべき。駐車場等手当の具体内容提示や、職員駐車場の無料化をするべき。
失職特例の導入	行政実例上、一般的には適切なものとは考えられない。適用事例の有無も含め、今後研究。	職員の高齢化が進む中、早期退職回避のため、速やかな導入をするべき。

総務部長は職員の苦勞に込えろ！

11.7

鳥インフル等危機対応、専門職員処遇、育児休業、総合案内員、公舎住環境…

総務部長交渉 県職労独自課題を追及

県職労は、本確定闘争における独自課題前進に向けて、11月7日に最終局面となる総務部長交渉を行う。

主な課題は次のとおり。職場で組合員から上がった職場実態や不満の声等をもとに、労働条件・職場環境の改善を求めていく。



《 県職労独自課題 》

●これまでの交渉での確認と交渉の課題

要求課題	これまでの交渉経過	交渉の課題
鳥インフル等危機対応（防疫等作業手当）	県職労要請書を踏まえ、防疫等作業手当について、深夜割増などを含め、支給額を大幅に引き上げる方向で検討。	他県でも大幅な改善が進んでおり、負担の重さに見合った十分な手当となるよう大幅改善をするべき。
専門職員の処遇（獣医師の給与上の処遇改善）	獣医師の初任給調整手当の支給額を引き上げる方向で検討。現行規定の額は全国中位。	専門職員の人材確保は重要。大幅改善すべき。獣医師以外の専門職員も給与処遇改善を進めるべき。
育児休業を取得しやすい職場づくり	他県や民間で育休代替職員が配置されない場合に、給与上の措置を行っており、安心して育休取得できる制度の検討を進めている。	1年間を通じた育休でも、代替職員未配置の実態がある。代替職員の完全配置をするべき。
総合案内員の継続配置	来年度の配置は、合庁内各所属の設置状況なども勘案し検討している。次回までには結論を出したい。	現場の実態からも、配置継続は不可欠。配置継続の判断を早急にすべき。
公舎の住環境	職員の住環境は重要課題。借上公舎等での対応も含め、計画的更新など、住環境整備を進めてきた。	住居確保困難な状況や入居者が健康を損なう状況では、人材確保も望めない。一層の改善をするべき。

今こそ組合に加入しよう！

本紙に記載した課題をはじめ、労働条件・職場環境の改善は、働く者みんなが労働組合に結集して要求しない限り実現し得ないものばかりです。また、労働組合が継続的に人事当局と協議すべき課題も多々あります。数は力です。今こそ組合に加入しましょう。

組合加入届は県職労HP (<https://www.iwatekensyoku.or.jp/>) からダウンロード
提出はお近くの組合事務所（書記局）又はFAX019-625-2421へ！